

暖かい風が吹き始め、季節はいよいよ春のにおいを感じさせてきました。埋文センターに立ち並ぶ桜の木々は、つぼみが少しずつ色づきはじめています。

平成23年度も機関紙『乙貞』をご愛読いただきありがとうございました。来年度も皆様にとって、よりわかりやすい内容を目指して、職員一同努力していきたいと思っております。

さて、今回の乙貞は、先日調査が完了した^{えんまどう}焰魔堂遺跡の成果に加えて、総括編として今年度実施した発掘調査の主な成果や、その後の考察で新しく見えてきた知見、また埋文センターで実施した催し物の様子について、まとめてご紹介したいと思います。

● 発掘調査の成果 ●

(1) 焰魔堂遺跡 第25次調査

焰魔堂町字二反長地先において、平成24年1月13日から31日にかけて、約123㎡を対象に、宅地造成工事に伴う発掘調査を実施しました。調査では、古墳時代の竪穴建物（SH）や溝、土坑などに加え、中世のピットを発見しました。竪穴建物SH-01は、約5.5m×約6.0m以上の規模を測ります。^{しゅうへきこう}周壁溝や^{しちゅうけつ}支柱穴のほか、建物南寄り^{ちやうけつ}で貯蔵穴と思われる土坑を確認しました。また、中央付近では炉跡と推測される焼土や炭化物が混入したピットを検出しています。竪穴建物SH-04は、床のほぼ全面に炭化物が広がっていることから、^{しょうしつ}焼失住居である可能性が考えられます。竪穴建物SH-01、03から出土した土器から、今回見つかった建物は古墳時代前期に属するもので、短期間のうちに建替えが行われたと推測されます。

調査地の周辺では、これまでに古墳時代前期の集落跡が発見されていないことから、今後の周辺の調査で、新たな知見が得られることを期待したいと思います。（平井）



焰魔堂遺跡 全景 北西から



焰魔堂遺跡 全景 南東から



焰魔堂遺跡 竪穴建物 SH-01



焰魔堂遺跡 竪穴建物 SH-04

※点線でかこまれた部分
=炭化物が広がっている部分



焰魔堂遺跡 遺構全体図 (S=1/100)

● 総 括 編 ～平成 23 年度を振り返って～ ●

平成 23 年度の発掘調査

平成 23 年度実施した調査は、本調査となったもので計 26 件、調査面積 4314.5 m²におよびます。さらに、下之郷遺跡^{しものごう}や伊勢遺跡^{いせ}における確認調査が計 11 件、調査面積 4664 m²実施されています。22 年度の調査実績が、計 37 件、調査面積 4,912 m²であったことから、前年と比較して発掘調査面積は増加したことになります。特に 23 年度の調査では、考古学的に価値のある資料が多く見つかり、今後市内での発掘調査を進めていく上で、非常に重要な年になるといえるかもしれません。以下では、主要な調査について時代を追って紹介していきたいと思います。

※以下、遺跡名の後にある番号は一覧表の番号と一致しています。

(1) 弥生時代

下之郷遺跡の確認調査（9～11）では、これまで見つかった弥生時代中期の環濠^{かんごう}の続きに加え、環濠の内部にあたる地点では、多数のピット、土坑を検出することができました。当時の環濠内外における土地利用を把握^{ひがし}する上で、貴重な資料となるでしょう。東辻戸遺跡（28）では、弥生時代後期末から古墳時代初頭の周溝墓群^{しゅうこうぼくん}が見つかりました。中には、野洲川流域で多くみられる“前方後方型周溝墓”^{せんぽうこうほうがたしゅうこうぼ}も見ついています。これらは、古墳時代へと移行する過渡期^{かとき}のものであり、周溝墓から古墳へと繋がる過程を把握する上で非常に重要な遺構と考えられています。

(2) 古墳時代

松塚遺跡^{まつづか}（33）では、5 世紀後葉に築造された古墳の周濠の一部を検出し、そこから多種多様な埴輪^{はにわ}が出土しました。中でも、大刀形埴輪^{たち}と甲冑形埴輪^{かっちゅうがたはにわ}は、全国でも非常に貴重な資料となります。大刀形埴輪は、6 世紀に属する例が多く、今回のように 5 世紀代のは少ない傾向があります。県内では、今回が二つ目の出土例になります。また、甲冑形埴輪も、非常に珍しい形をしており、数少ない全国の出土例の中でも最も精巧に作られているものです。これらの埴輪については、現在考察を進めている最中で、今後新たな知見が得られた際に、改めて皆様にご紹介したいと思います。



下之郷遺跡 全景



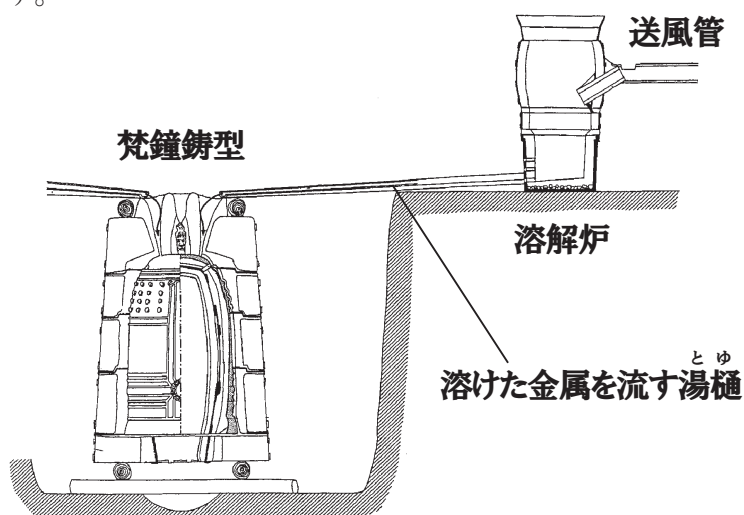
東辻戸遺跡 前方後方型周溝墓



松塚遺跡 大刀形埴輪出土状況

(3) 奈良時代～平安時代

東辻戸遺跡 (28) では、奈良時代から平安時代にかけての溝が見つかり、その中から大量の“^{ろへき}炉壁”が出土しました。これらは、金属を溶解するための溶解炉の壁片と考えられます。炉で精錬された金属は、溶解炉で再び溶かされ、それを^{せうれん}鑄型に流し込んで金属製品が作られます。つまり、付近に金属製品の生産工房があったことを示しているのです。さらに、出土した炉壁から想定される溶解炉は、小型製品ではなく、^{ほんしょう}梵鐘や釜・鍋などの大型製品を生産するためのものであったと考えられます。この時代、一般集落に金属製品が出回っていた事例はほとんどないことから、この工房の経営主体や製品の供給先には、^{かんが}官衙関連施設や、古代寺院があったと想定されます。

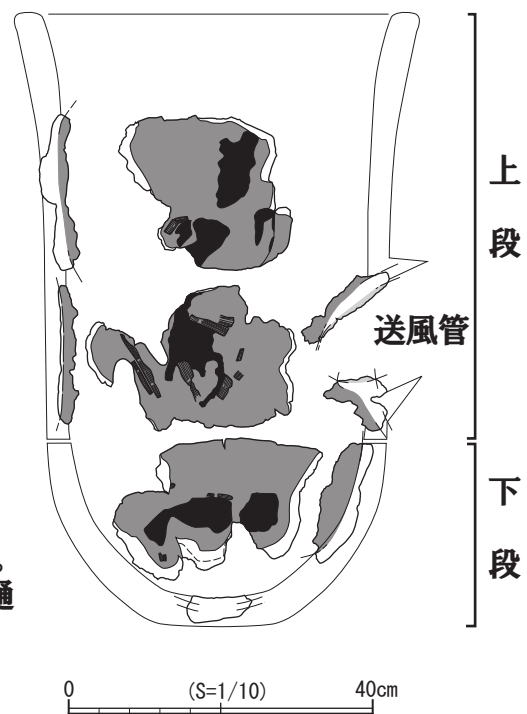


梵鐘鑄造模式図 (神埼勝 (2006)『冶金考古学概論』から転載)

^{ふるたかじょう}古高城遺跡 (32) では、平安時代の複数の建物群を発見しました。建物群は、南北方向に主軸を向けるものと、東へ40度に向けるものの、二つのグループに分かれています。出土した土器は、両グループともに大きな時期の相違がみられません。また、重なり合っていたことから、一方の建物群が廃棄された後、以前とは向きを変えた建物を短い期間のうちに建替えたと推測されます。



東辻戸遺跡 炉壁出土状況



東辻戸遺跡 溶解炉復元想定図



古高城遺跡 掘立柱建物

埋文センターでのイベント

平成 23 年度も埋文センターでは、春・秋の特別展や歴史入門講座など、多くのイベントを実施してきました。その際には、市内のみならず、市外、または県外からの来館者もあり、守山市の文化財が各地の方々に認知されはじめているのを実感しています。

(1) 春・秋の特別展

23 年度の特別展は、春は「大民具展」、秋は「野洲川流域の縄文遺跡」をテーマに開催しました。短い期間であったものの、春展には 245 名、秋展には 415 名と多くの方々に来館していただきました。秋展の期間中^{はっとり}には、服部遺跡から出土した古墳時代の『導水施設』^{どうすいしせつ}を展示し、全国でも貴重な資料に多くの方が魅入っておられました。また、毎年恒例の『小菊盆栽展』も、来館者の方々から好評をいただきました。



春の特別展「大民具展」



歴史入門講座 第一講の様子

(2) 歴史入門講座

23 年度の講座は、『近江に根ざした歴史と文化』をテーマにして、弥生時代から近代に至る歴史の流れを、専門家の方々に講演していただきました。今年度は全 6 回で延べ 281 人の参加者がありました。今回は、考古学の観点のみならず、守山を育んだ野洲川や、今や見られなくなったかつての民俗文化の話など、身近で、かつバラエティに富んだ内容で、多くの方々に好評をいただきました。

(3) その他のイベント

埋文センターでは、上記以外にもさまざまな催し物を行ってきました。毎年恒例となった、体験学習田での田植え、穂摘みをはじめとして、親子で協力し合って体験してもらう親子考古学教室の開催など、実際に触れて体感してもらうことを意識したイベントを数多く実施しています。24 年度も、多くの方々に楽しんでいただける企画を考えていきたいと思っています。



田植え体験の様子

伊勢遺跡が国の史跡に

平成 23 年度の伊勢遺跡は、これまで行ってきた普及活動に加えて、9 月 17 日には「伊勢遺跡の謎を読み解く―邪馬台国前夜の大型建物群―」と題した歴史フォーラムを開催し、市民の方々に広く伊勢遺跡の魅力を伝えることができました。このような活動が実をむすび、平成 24 年 1 月 24 日、ついに伊勢遺跡が国の史跡として指定されることとなりました。今後も、市内のみならず、市外・県外の方々にもこの魅力を伝えるべく、職員一同努力していきたいと思っています。

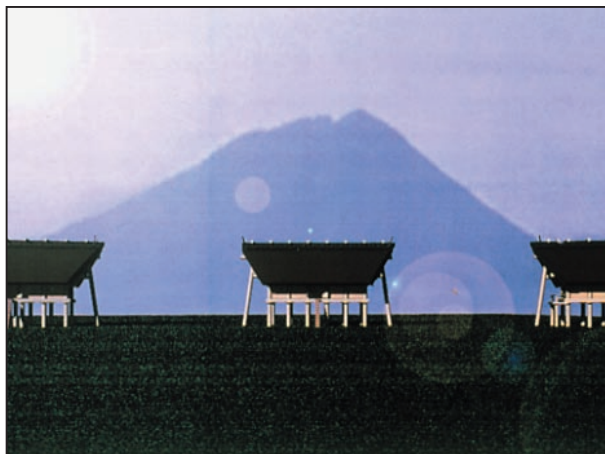


伊勢遺跡 大型掘立柱建物跡

春季特別展

● 伊勢遺跡国史跡指定記念『弥生の王国―伊勢遺跡とその周辺―』 ●

埋文センターでは、今年も春の特別展を実施します。今春のテーマは、1 月に国史跡に指定された「伊勢遺跡」です。服部遺跡や下之郷遺跡など、市内にみられる弥生遺跡群を通して、近江南部地域に形成されたクニの中心と考えられる伊勢遺跡の出現までの過程を明らかにしていきたいと思っています。守山市内に残る弥生時代の貴重な遺物の数々を、この機会にぜひご覧になってください。



開催期間：平成 24 年 4 月 21 日（土）～5 月 6 日（日）まで（期間中無休）

開催時間：午前 9 時から午後 4 時まで（入館時間）

主な展示品：【服部遺跡】 弥生土器、木製農具、^{ちゅうぞう} 鑄造関連土製品、^{せきせいいがた} 石製鑄型
【下之郷遺跡】 弥生土器、木製武器・武具、^{ませいせつき} 磨製石器、^{かえ} 戈の柄
【二ノ畦・横枕遺跡】 弥生土器、石器、鉄器、井戸枠
【伊勢遺跡】 弥生土器、鉄器、首飾り、^{はさいきょう} 破碎鏡 など約 100 点

関連行事：講演会と展示解説

日時 平成 24 年 4 月 22 日（日）午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分

場所 埋蔵文化財センター 2 階会議室

演題 『魏志倭人伝の世界と伊勢遺跡』

講師 大橋 信弥 さん

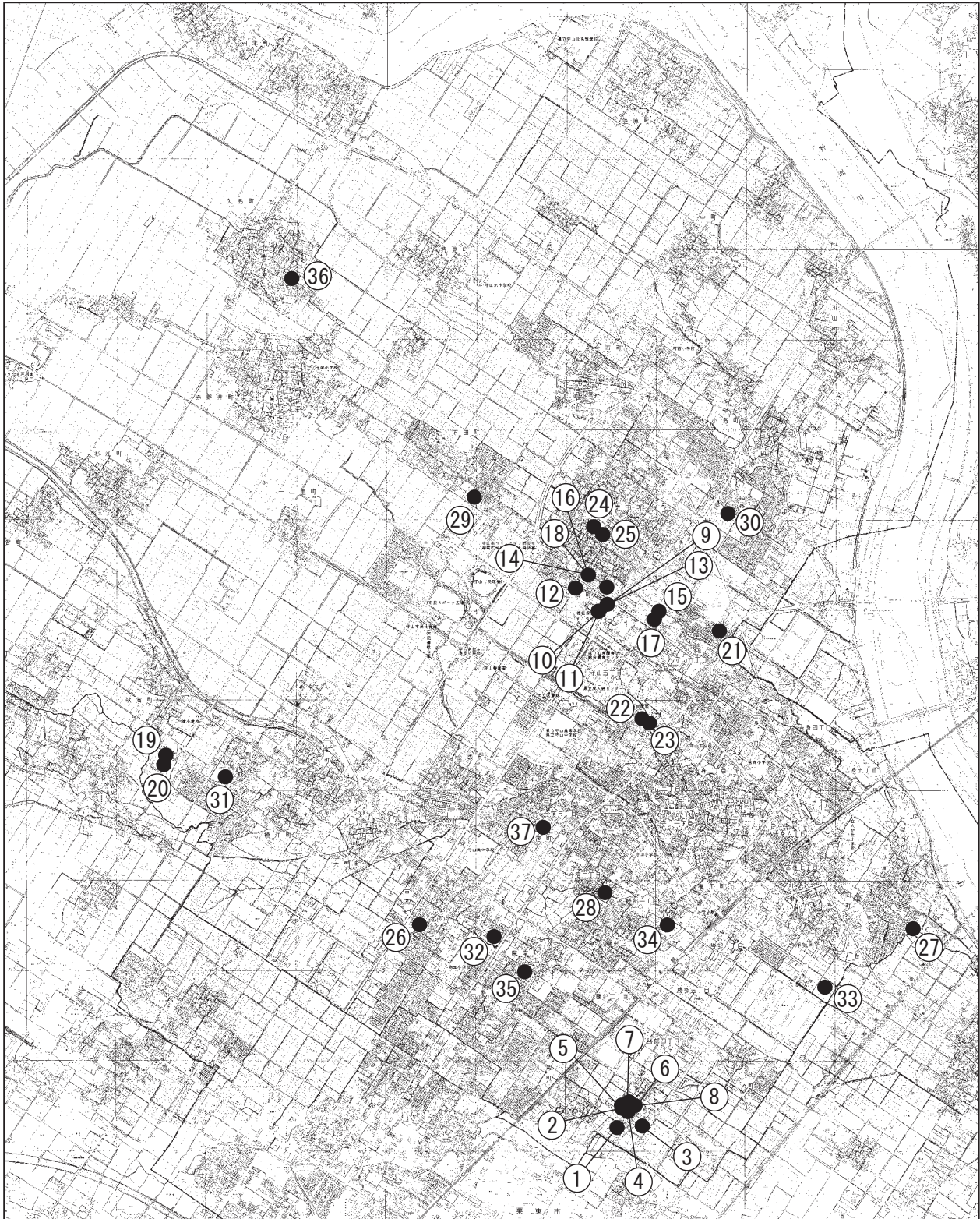
講演会終了後、センター職員が展示解説を行います。

その他：常設展・特別展の展示入れ替えのため、平成 24 年 4 月 13 日（金）～4 月 20 日（金）までと、平成 24 年 5 月 7 日（月）～5 月 11 日（金）までの期間を休館とします。

● 平成 23 年度 発掘調査一覧表 ●

番号	遺跡名	調査回数	調査地	調査面積/開発面積(m ²)	調査期間	調査種別	調査原因	担当
1	伊勢遺跡	111 次	阿村町字下番田157-1、159-1 他	500 / 2979.60	4/4 ~ 5/10	確認調査	宅地造成	伴野
2	伊勢遺跡	112 次	阿村町字下大洲168-1	200	4/18 ~ 6/3	確認調査	宅地造成	伴野
3	伊勢遺跡	113 次	阿村町字上番田142-1の一部 他	250 / 727.77	9/20 ~ 9/30	本調査	共同住宅	伴野
4	伊勢遺跡	114 次	阿村町字下大洲168-25	12 / 151.60	10/25	確認調査	個人住宅	伴野
5	伊勢遺跡	115 次	阿村町字下大洲168-22	15 / 152.96	11/7 ~ 11/11	確認調査	個人住宅	伴野
6	伊勢遺跡	116 次	阿村町字下大洲168-27	25 / 178.42	12/8	確認調査	個人住宅	伴野
7	伊勢遺跡	117 次	阿村町字下大洲168-24	10 / 150.51	2012/1/19	確認調査	個人住宅	伴野
8	伊勢遺跡	118 次	阿村町字下大洲168-26	22 / 171.01	2012/2/17	確認調査	個人住宅	伴野
9	下之郷遺跡	79 次	下之郷三丁目字皆廣640-1、639-1の一部	1200	6/9 ~ 7/30	確認調査	宅地造成	平井
10	下之郷遺跡	80 次	下之郷三丁目字皆廣645-3	480	6/14 ~ 7/4	確認調査	宅地造成	平井
11	下之郷遺跡	81 次	下之郷三丁目字皆廣645-3	56 / 480.76	8/1 ~ 8/4	本調査	宅地造成	平井
12	下之郷遺跡	82 次	下之郷三丁目字金影606-17	20 / 134.40	8/2	本調査	個人住宅	小島
13	下之郷遺跡	83 次	下之郷三丁目字皆廣640-1、639-1の一部	279 / 1867.52	8/5 ~ 9/14	本調査	宅地造成	平井
14	下之郷遺跡	84 次	下之郷二丁目字橋本617-4、6、7	200 / 246.44	9/15 ~ 9/29	確認調査	個人住宅	畑本
15	下之郷遺跡	85 次	下之郷一丁目字平田691-11	20 / 165.01	10/6	本調査	個人住宅	小島
16	下之郷遺跡	86 次	下之郷二丁目字橋本617-4、6、7	2000	10/12 ~ 10/31	確認調査	宅地造成	畑本
17	下之郷遺跡	87 次	下之郷一丁目字平田691-10	20 / 157.42	10/18	本調査	個人住宅	小島
18	下之郷遺跡	88 次	下之郷二丁目字橋本616-1、2 他	70 / 2072.74	11/28 ~ 12/2	本調査	宅地造成	畑本
19	欲賀南遺跡	15 次	欲賀町字大蔵1977	40 / 274.19	4/1	本調査	個人住宅	小島
20	欲賀南遺跡	16 次	欲賀町字大蔵1987	31.5 / 89.14	11/10	本調査	個人住宅	小島
21	二ノ畦・横枕遺跡	55 次	下之郷一丁目字向八代25 他	20 / 154.91	4/11	本調査	個人住宅	小島
22	吉身西遺跡	102 次	守山四丁目字南高田1306の一部 他	175 / 552.52	4/14 ~ 4/28	本調査	集合住宅	木下
23	吉身西遺跡	103 次	守山四丁目字南高田1307-4	20 / 127.67	6/9	本調査	個人住宅	小島
24	播磨田城遺跡	5 次	播磨田町字宮前933-6	20 / 179.06	4/25	本調査	個人住宅	小島
25	播磨田城遺跡	6 次	播磨田町字宮前933-5	25 / 166.24	12/13	本調査	個人住宅	小島
26	南屋敷遺跡	2 次	古高町字南屋敷287	25 / 156.81	5/6	本調査	個人住宅	小島
27	立入荒牧遺跡	4 次	立入町字大塚279-1、280、281	150 / 2540.07	5/23 ~ 5/31	本調査	宅地造成	木下
28	東辻戸遺跡	1 次	今宿二丁目字東辻戸40 他	1430 / 3153.94	6/8 ~ 9/9	本調査	宅地造成	木下
29	石田遺跡	3 次	石田町字塚本245-14	20 / 89.42	7/29	本調査	個人住宅	小島
30	播磨田東遺跡	34 次	播磨田町字トウノへ291-7	20 / 177.57	8/9	本調査	個人住宅	小島
31	大林城遺跡	1 次	大林町字村内250	30 / 160.57	10/24	本調査	個人住宅	小島
32	古高城遺跡	15 次	焰魔堂町字円前224-1他	520 / 2104.65	10/26 ~ 11/30	本調査	宅地造成	木下
33	松塚遺跡	2 次	浮気町字一ツ橋29、30、31他	650 / 4771.50	11/28 ~ 12/28	本調査	宅地造成	平井
34	吉身北遺跡	30 次	勝部一丁目字神出317の一部 他	250 / 2319.83	12/20 ~ 2012/1/6	本調査	宅地造成	伴野
35	焰魔堂遺跡	25 次	焰魔堂町字二反長96-1 他	123 / 754.52	2012/1/13 ~ 1/31	本調査	宅地造成	平井
36	寺中遺跡	19 次	矢島町945-1、946の一部	20 / 67.91	2012/1/31	本調査	個人住宅	小島
37	経田遺跡	12 次	今宿四丁目字経田512-3	50 / 173.57	2012/2/27	本調査	個人住宅	小島

● 平成 23 年度 発掘調査地 位置図 ●



平成 23 年度の発掘調査実績

本調査 26 件 総面積 4,314.5 m²

確認調査 11 件 総面積 4,664 m²

その他、試掘調査を 43 件実施

平成 22 年度の発掘調査実績

本調査 37 件 総面積 4,912 m²

機関紙「乙貞」は守山市のホームページ (<http://www.city.moriyama.lg.jp>) から閲覧できます。